

ひと
女ひと
男

男女が共に生きるメッセージ



パートナーシップ

問合せ先 秘書広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111

国際的視野で考える男女共同参画



◆世界から見た日本の男女共同参画



世界経済フォーラムが平成30年12月、各国の男女格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(2018年版)」を発表しました。

経済・教育・政治・健康の4つの分野で、各国の男女の格差を分析し評価したものです。日本の順位は、前年より4つ順位を上げて149か国中110位でした。

日本は、経済と政治の分野が特に低い順位になっています。

順位	国名
1	アイスランド
2	ノルウェー
3	スウェーデン
4	フィンランド
5	ニカラグア
110	日本

日本の分野ごとの順位

分野	順位
経済	117位
教育	65位
健康	41位
政治	125位



経済分野で順位が低くなっている主な要因

- 収入での男女格差が大きい
- 管理職ポジションに就いている男女の人数差が大きい

政治分野で順位が低くなっている主な要因

- 国会議員に占める女性の比率が低い

【各分野のデータ】

経済分野：労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める比率、専門職に占める比率

教育分野：識字率、初等・中等・高等教育の各在学率

健康分野：新生児の男女比率、健康寿命

政治分野：国会議員に占める比率、閣僚の比率、最近50年の行政府の長の在任年数

◆日本の新しい動き

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が平成30年5月に公布・施行されたことを知っていますか。男女の候補者の数ができる限り均等となることをめざす法律です。

国会議員に占める女性の割合(平成30年5月現在)は、参議院議員20.7%、衆議院議員10.1%と国際的には世界193か国中160位となっています。また、全国の地方議会議員に占める女性の割合(平成29年12月現在)は、都道府県議会では10.1%、市区議会では14.9%、町村議会では9.9%と低い状況となっています。(小郡市議会は現在22.2%)

政治に多様な意見を反映させるためにも、政治分野における女性の参画拡大は重要な課題です。



世界的にも男女共同参画の取組は積極的に行われています。政策・方針決定の過程に多様な意見が取り入れられることで、それぞれの分野の可能性が広がります。

まずは身近なところで、自分と違う意見に耳を傾け、多様性を意識してみよう。



おごおり女性ホットライン ☎092-513-7337

月～金曜日／午前10時～午後5時(祝日、12月29日～1月3日を除く)

配偶者や恋人からの暴力についての相談のほか、セクシュアル・ハラスメントや仕事、地域、家庭のことなどさまざまな悩みに、専門の相談員が対応します。



配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか？
ひとりで悩まずに相談してください。

